

第34回 日本大動脈外科研究会 プログラム・抄録集

会期：2026年4月24日（金）14:50-17:50

（第126回日本外科学会定期学術集会 第2日目）

会場：札幌市民交流プラザ 1階 SCARTS スタジオ

当番世話人：川原田 修義
（小樽市立病院）

第34回日本大動脈外科研究会

開催にあたってのご挨拶



この度、第34回日本大動脈外科研究会を、2026年4月24日（金）に札幌市民交流プラザ（札幌市中央区北1条西1丁目）において第126回日本外科学会定期学術集会と共催開催する運びとなりました。歴史ある本研究会の主宰という大役を仰せつかり、会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

今回のメインテーマは「感染性大動脈疾患の外科治療」といたしました。大動脈外科における感染性疾患は、依然として我々大動脈外科医にとって最も困難で、かつ高い判断力が求められる領域の一つです。近年、人工血管やステントグラフトの進歩、周術期管理や抗菌薬療法の向上により、救命率は着実に改善してきました。しかし、感染性病変に対する外科治療は、高い死亡率と深刻な合併症を伴う極めて難度の高い分野であり、一度重症感染を合併すれば、その治療は極めて侵襲的であり、再建材料の選択、デブリードマンの範囲、あるいは大網充填の併用など、標準化が難しい「個別の戦略」を常に迫られます。また、高齢化社会の進展に伴い、低侵襲治療後のステントグラフト感染や、複数の基礎疾患を抱えた症例への対応も喫緊の課題となっています。

本研究会では、若手から熟練の諸先生方までが一堂に会し、各施設の工夫や苦勞、そして最新の知見を共有することで、この難治性疾患に対する一筋の光を見出す機会にしたいと考えております。抄録集に並ぶ数々の貴重な症例報告や研究成果が、明日の臨床現場での一助となれば幸いです。発表内容におきましても、大動脈外科全般にわたる最新の知見、若手外科医による意欲的な発表を期待しております。熱心な議論を通じて、感染という「血管外科の暗黒部分」に対する新たな光を見出し、今後の治療成績向上に資する場となることを願ってやみません。

これまで、本研究会は日本外科学会学術集会と併設、もしくは、会期内の夕方から夜に独立開催することが通例だったのですが、前回の第33回からは日本外科学会との共催という形式で学術集会の中日に開催できる運びとなり、今回も前回同様の時間帯に開催できますことを大会長の平野 聡会頭に厚くお礼申し上げますとともに、日本外科学会理事をはじめ関係者の皆様に感謝申し上げます次第です。

最後になりますが、本研究会の開催にあたり多大なるご支援を賜りました関係各位に深く感謝申し上げ、活発な議論を通じて、本会が日本の大動脈外科のさらなる発展に寄与することを切に願い、開会の挨拶とさせていただきます。

第34回日本大動脈外科研究会
当番世話人 川原田 修義
(小樽市立病院)

座長・演者・参加の皆様へ

1. 参加の皆様へ

- (1) 受付にて参加費1,000円をお支払ください
- (2) 参加証は所属・氏名をご記入の上、会場内では必ずご携行ください

2. 発表データの受付について

プレゼンテーションデータは、現地PCセンターにて受付を行います。PCによるプレゼンテーションは、各演者ご自身が持ち込むノートパソコン（WindowsまたはMacintosh）もしくはデータ持込（PowerPoint）にてお願いいたします。会場では、演者ご自身で演台上の機材を操作していただきます。解像度は、HD（1920×1080）となります。

※今回の研究会では第126回日本外科学会定期学術集会各施設のPCセンターをオンライン構築しておりますので自身の発表施設以外でも受付可能です。

(1) 発表データおよび持込パソコンの受付について

発表データの受付、パソコン持込の場合の出力チェック、確認はすべてPCセンター（発表データ受付）にて行います。PCセンターの設置場所は下記となります。

会場名	場所	部屋名
札幌市民交流プラザ	3階第13会場前	特設スペース
京王プラザホテル札幌	1階ロビー	特設スペース
カナモトホール	1階第7会場	下手袖 特設スペース
グランドメルキュール札幌大通公園	2階	特設スペース
ホテルニューオータニイン札幌	2階	双葉の間

データ持込の場合は、オペレーターがデータを受け取り、サーバーにコピーします。コピーされたデータは、各発表会場に配信されます。なお、コピーされたデータは終了後、主催者側で責任を持って消去いたします。

(2) 受付時間

発表セッション開始1時間前までに、受付をお済ませください。午前中は当日発表分のデータのみ受付ますが、午後からは翌日以降のデータ受付も可能です。受付終了後、発表セッション開始30分前までに会場内演台付近のオペレーター席にお立ち寄りください。

データ受付時間は下記のとおりです。

	4月23日（木）	4月24日（金）
発表データ受付時間	12:00 - 17:00	7:30 - 16:45（最終演題発表1時間前）

3. パソコン持込の場合の注意点

- (1) パソコン本体を持ち込みの場合はPCセンターにてパソコンの出力チェック後、発表セッション開始30分前までにご自身で会場内演台付近のオペレーター席までパソコンをお持ちください。パソコンは、発表終了直後にオペレーター席にて返却いたします。

- (2) ノートパソコン持込の場合でもバックアップ用データをCD-RまたはUSBフラッシュメモリでご持参ください。また、パソコンのACアダプターは必ずご自身でご用意ください。
- (3) Macintoshはご自身で使用しているソフトを使用できます。(Keynote含む)
- (4) 会場で用意するPCケーブルコネクタの形状はHDMIです。この形状にあったノートパソコンをご用意ください。また、この形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でお持ちください。
- (5) スクリーンセ이버ならびに省電力設定は事前に解除してください。

4. 発表データ持込（CD-RまたはUSBフラッシュメモリ）の場合の注意点

- (1) メディアはCD-RまたはUSBフラッシュメモリでの持ち込みに限ります。
- (2) データファイル名の統一
持ちこまれるメディアには、当日発表されるデータ（完全版）以外のデータは入れないようにしてください。
また、データのファイル名は、下記の要領で頭に「大」を付けて演題番号（半角）に続けて演者の指名（漢字）を必ずつけてください。

例)：大S-1 川原田修義

- (3) OSはWindows11、Macintosh Tahoe 26.2。データ作成のアプリケーションソフトは（Windows）Microsoft PowerPoint 2024, (365)。(Macintosh) PowerPoint 2024バージョンをご用意しております。

※フォントは文字化け、レイアウトのくずれを防ぐため下記フォントに限定させていただきます。

MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝、Arial、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Roman

※動画ファイルの注意点

Windowsの場合 Windows11（OS）及び映画&テレビの初期設定状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください。(動画ファイルはmp4形式を推奨します)

Macintoshの場合 Tahoe 26.2（OS）およびQuickTimePlayer7の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ち込みください。(動画ファイルはmp4を推奨します)

※ファイルサイズは1GB以内になるようお願いいたします。

5. 演者の皆様へ

- (1) シンポジウム
 - ・口演時間は 発表6分 質疑応答3分 です
 - ・スケジュールがタイトですので、時間厳守をお願いいたします
 - ・前の演者の発表が始まりましたら、次演者席で待機をお願いします
- (2) 会長要望演題
 - ・口演時間は 発表5分 質疑応答2分 です
 - ・スケジュールがタイトですので、時間厳守をお願いいたします
 - ・前の演者の発表が始まりましたら、次演者席で待機をお願いします

(3) 一般演題

- ・口演時間は 発表5分 質疑応答2分 です
- ・スケジュールがタイトですので、時間厳守をお願いいたします
- ・前の演者の発表が始まりましたら、次演者席で待機をお願いします

(4) ポスター発表

- ・口演時間は 発表4分 質疑応答2分 です
- ・発表の際は座長の指示に従って進めてください
- ・ポスターの大きさは全体で縦180cm×90cmです。

貼付時間：4月24日（金）

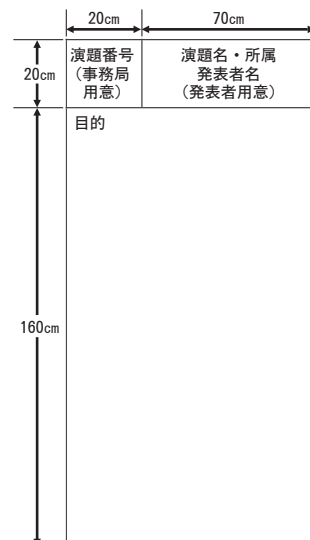
VL02 肝胆膵セッション終了後14：10～研究会開始14：50まで

演台番号、タイトル、本文のスペースは右記の通りです。

掲示用の画鋏はポスターパネルにご用意しております。

ポスターの撤去は研究会終了後をお願いします。

撤去されなかったポスターは廃棄させていただきます。



6. 座長の先生方へ

- (1) 前のセッションが始まりましたら、次座長席で待機をお願いします
- (2) 開始の合図が入り次第登壇いただき、セッションを開始してください
- (3) セッションの進行は座長の先生にお任せいたしますが、終了時間を厳守していただきますようご配慮ください

7. クローク

下記の場所にクロークを開設いたします。

	4月23日（木）	4月24日（金）	4月25日（土）
札幌市民交流プラザ 1階特設クローク	8：00－18：20	8：00－18：00	7：00－16：30
京王プラザホテル札幌 2階既設クローク	8：00－18：20	8：00－18：00	7：00－17：00
グランドメルキュール札幌大通公園 2・3階既設クローク	8：00－18：20	8：00－21：00	7：00－16：30
ホテルニューオータニイン札幌 2階既設クローク	8：00－18：20	8：00－18：00	7：00－16：30
カナモトホール	※ご用意がございませんので、近隣の札幌市民交流プラザかホテルニューオータニイン札幌のクロークをご利用ください。		

8. 託児室

第126回日本外科学会学術集会期間中、託児室を設置いたします（無料）。事前申し込み制となっておりますので詳細については学術集会ホームページをご覧ください。

9. 総合案内・トラベルデスク

札幌市民交流プラザに総合案内を設置いたします。観光・宿泊案内等の情報はトラベルデスクをご利用ください。

10. 撮影について

- (1) 会場内での写真撮影・録音・録画は事前に許可を得た場合を除いて禁止です。著作権の侵害となる可能性がございます。厳にお慎みください。
- (2) 事後アーカイブコンテンツ配信動画、講演スライド等の録画・録音・撮影・印刷や画面をスクリーンショット等でキャプチャーする行為は一切禁止します。また、無断転用・複製も一切禁止します。

11. インターネット・コピーの利用について

会場内でのWi-Fiの利用が可能です。コピーを希望の場合は、各施設の総合案内へお尋ねください。

12. 会場間の移動について

以下の発着所にシャトルバスをご用意しております。

【シャトルバス発着所】

- ・京王プラザホテル・札幌市民交流プラザ・グランドメルキュール札幌大通公園

※カナモトホール、ホテルニューオータニイン札幌のご利用の際は「札幌市民交流プラザ」の発着所をご利用ください。徒歩2分圏内となります。

13. その他

呼び出しについて

開催中はいずれの会場におきましても、原則として会場内でのアナウンスやスライドによるお呼び出しはいたしません。メッセージボードへの張り出しにて対応させていただきますので、総合案内にお申し出ください。

14. 年会費の支払いなどについて

会場での年会費の徴収は行いません。また、入会申込や住所変更なども行えません。

会場へのアクセス

《地下鉄》

札幌市営地下鉄東西線、南北線、東豊線「大通」駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結 徒歩約2分

《市電》

市電「西4丁目」駅から徒歩約12分

《JR》

JR「札幌」駅南口から徒歩約10分

《バス》

「時計台前」または「北1条」停留所から徒歩約2分

《新千歳空港から》

JR：快速エアポートでJR「札幌」駅へ約37分

バス：札幌都心行高速バス（北海道中央バス・北都交通）で「ホテルモンテレーデルホフ札幌」停留所へ約75分。同停留所から徒歩約2分

乗り場や時刻表など、詳しくは新千歳空港ターミナルビルウェブサイトをご覧ください

<https://www.new-chitose-airport.jp/ja/access/bus/>

《札幌丘珠空港から》

地下鉄：札幌丘珠空港から地下鉄東豊線栄町駅までバス（北都交通・中央バス）で約5分。地下鉄東豊線栄町駅から大通駅へ約13分。

バス：札幌都心行高速バス（北都交通）で「札幌駅前」停留所まで約30分。

乗り場や時刻表など、詳しくは札幌丘珠空港ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.okadama-airport.co.jp/access/>

[駐車場について]

駐車場はございません。

最も近い駐車場としては、会場を含む「さっぽろ創世スクエア」地下に「タイムズステーションさっぽろ創世スクエア」（有料）がございますので、そちらをご活用ください。

詳しくは駐車場を運営しているタイムズ24のウェブサイトをご覧ください。

<https://times-info.net/campaign/sapporo-sousei-square/>

[駐輪場について]

「さっぽろ創世スクエア」高層棟の地下に「北1西1地下駐輪場」がございます。

詳しくは大通周辺自転車等駐車場利用推進グループウェブサイトをご覧ください。

<http://sapporo-dc.co.jp/bicycle-parking/>

第34回日本大動脈外科研究会プログラム

会場：札幌市民交流プラザ SCARTSスタジオ

2026年4月24日（金）14：50 – 17：50

開会の辞

14：50 – 14：55

当番世話人 川原田修義（小樽市立病院）

シンポジウム

14：55 – 15：49（発表各6分 質疑応答3分）

座長 志水 秀行（慶應義塾大学 外科学（心臓血管））

齋木 佳克（東北大学 心臓血管外科）

S-1 胸部大動脈術後、遠隔期人工血管感染に対する再手術

○大箸 祐子，鷺山 直己，和田 駿佑，下村 俊太郎，竹内 祐貴，平野 雅大，津田 和政，
岡本 一真

浜松医科大学 第一外科

S-2 人工血管感染に対する治療戦略～果報は寝て待て～

○秋田 淳年，丹羽 若菜，松橋 和己，天野 健太郎，前川 厚生，高味 良行，阿部 知伸
藤田医科大学 心臓外科

S-3 胸部大動脈感染性疾患に対するALPSアプローチの有用性の検討

○山中 勝弘，中岡 佑太，和田 拓也，加藤 大樹，古谷 凌一，阪口 和憲，白木 宏長，
川端 良，大山 詔子，長命 俊也，邊見 宗一郎，高橋 宏明，岡田 健次

神戸大学 心臓血管外科

S-4 大動脈食道瘻に対する一期的根治術の有用性

○佐藤 公治，加藤 伸康，南田 大朗，新宮 康栄，杉木 宏司，加藤 裕貴，若狭 哲
北海道大学病院 心臓血管外科

S-5 当院における胸部人工血管感染に対する手術成績

○田中 晴城，川口 右，木村 純也，宮尾 将文，高木 祐基，御子柴 透，市村 創，大橋 伸朗，
和田 有子，瀬戸 達一郎

信州大学 心臓血管外科

S-6 大動脈基部感染に対するホモグラフト置換術後の遠隔期に再基部置換を要した7例の検討

○山内 治雄¹⁾，安藤 政彦¹⁾，星野 康弘¹⁾，金子 寛行¹⁾，高橋 秀臣¹⁾，小前 兵衛^{1) 2)}，
田村 純人²⁾，小野 稔¹⁾

1) 東京大学医学部附属病院 心臓外科， 2) 東京大学医学部附属病院 組織バンク

座長 岡田 健次 (神戸大学 心臓血管外科)

國原 孝 (東京慈恵会医科大学 心臓外科学講座)

PR-1 当院での大動脈食道瘻の手術成績から考える今後の治療戦略○伊庭 裕¹⁾, 中島 智博¹⁾, 仲澤 順二¹⁾, 柴田 豪¹⁾, 在原 綾香¹⁾, 加藤 健一¹⁾, 小松 茂樹¹⁾,
米森 柁人¹⁾, 川原田 修義²⁾

1) 札幌医科大学 外科学講座 心臓血管外科学分野, 2) 小樽市立病院

PR-2 二次性大動脈食道瘻の治療経験○寺谷 裕充, 和田 秀一, 桑原 豪, 古井 雅人, 助弘 雄太, 森田 裕一, 早麻 政斗,
野間 通裕, 山崎 翔太郎

福岡大学病院 心臓血管外科

PR-3 感染性胸部/胸腹部大動脈瘤に対するTEVARの治療成績の検討

○大澤 央宜, 長尾 兼嗣, 山下 重幸, 芳村 直樹

富山大学 第一外科

PR-4 Loews-Dietz症候群を背景とするfrozen elephant trunk人工血管感染に対し、胸部下行ホモグラフト置換術を施行した一例○川東 正英, 島本 健, 長田 裕明, 吉良 浩勝, 西尾 博臣, 毛利 啓人, 寺下 愉加里,
高德 和宏, 菅野 勝義, 武田 崇秀, 湊谷 謙司

京都大学 心臓血管外科

PR-5 BCG膀胱内注入療法後に発症した大動脈食道瘻の一例○細山 勝寛, 長谷川 喬彦, 田子 竜也, 湯田 健太郎, 板垣 皓大, 伊藤 校輝, 鈴木 佑輔,
高橋 悟朗, 熊谷 紀一郎, 齋木 佳克

東北大学病院 心臓血管外科

ポスターセッション① 16:30 – 17:00 (発表各4分 質疑応答2分)

座長 紙谷 寛之 (旭川医科大学外科学講座 心臓大血管外科学分野)

P1-1 サルモネラ属菌による上行大動脈膿瘍動脈外穿破に対して、partial remodelingによる大動脈形成を施行した一例

○鳥飼 哲世, 草刈 翔, 河原 拓也, 藤森 智成, 中野 光規, 谷口 良輔, 岡村 誉, 山口 敦司
自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科

P1-2 結核菌による感染性胸部大動脈瘤に対する1治験例

○打田 裕明, 浅田 佑樹, 前田 和人, 牧浦 琢朗, 福原 慎二, 岡本 順子, 神吉 佐智子,
小澤 英樹, 大門 雅広, 勝間田 敬弘
大阪医科薬科大学 外科学講座 胸部外科学教室

P1-3 感染性解離性下行大動脈瘤に対しリファンピシン浸漬の人工血管置換術及び大網充填術を施行した1症例

○高木 智充, 儀武 路雄, 松村 洋高, 益沢 明広, 前田 恵, 桐谷 ゆり子, 石割 圭一, 國原 孝
東京慈恵会医科大学附属病院 心臓外科

P1-4 TEVAR術後のCTガイド下瘤穿刺により起因菌を同定し得た感染性大動脈瘤の一例

○山本 実果, 奈良岡 秀一, 石毛 大貴, 増田 貴彦, 西岡 成知, 栗本 義彦
手稲溪仁会病院 心臓血管外科

P1-5 胸部ステントグラフト術後のSG感染に対してSGを温存し開胸感染巣ドレナージ及び大網充填を施行した2例

○西出 亮, 山岸 大祐, 鈴木 毅弘, 小澤 博嗣, 大森 槇子, 福島 宗一郎, 宿澤 孝太,
大木 隆生
東京慈恵会医科大学 外科学講座 血管外科

ポスターセッション② 16:30 – 17:00 (発表各4分 質疑応答2分)

座長 若狭 哲 (北海道大学大学院医学研究院 心臓血管外科学教室)

P2-1 FET + preemptive TEVAR後胸部大動脈グラフト感染・食道瘻に対する段階的治療の1例

○高木 大地, 山浦 玄武, 桐生 健太郎, 荒井 岳史, 五十嵐 至, 山崎 友也, 五十嵐 亘,
中嶋 博之
秋田大学附属病院 心臓血管外科

P2-2 食道癌術後2週間目に右側大動脈弓コメレル憩室が破裂し大動脈食道瘻及び食道気管瘻を合併した症例

○東 修平, 鈴木 達也, 島田 亮
京都桂病院 心臓血管外科

P2-3 感染性胸腹部大動脈瘤に対し高気圧酸素療法を併用し保存的治療を行った1例

○高橋 昌吾, 赤松 秀信, 井上 陽斗, 李 廷娥, 白倉 健太郎, 瀬戸川 友紀, 竹吉 大輔,
國岡 信吾, 紙谷 寛之
旭川医科大学 心臓外科

P2-4 感染性大動脈瘤の“Probable”診断基準を満たした腹部大動脈血管肉腫の1例

○長尾 兼嗣¹⁾, 山下 重幸¹⁾, 鳴戸 規人²⁾, 大澤 央宜¹⁾, 不破 光策¹⁾, 横山 茂樹¹⁾,
名倉 里織¹⁾, 土居 寿男¹⁾, 芳村 直樹¹⁾
1) 富山大学 第一外科, 2) 富山大学 放射線科

P2-5 感染性大動脈炎による腹部大動脈破裂の1治験例

○河村 将彦, 比嘉 章太郎, 新崎 翔吾, 永野 貴昭, 古川 浩二郎
琉球大学大学院医学研究科 胸部心臓血管外科学講座

ポスターセッション ③ 16:30 – 17:00 (発表各4分 質疑応答2分)

座長 内田 徹郎 (山形大学医学部 外科学第二講座)

P3-1 感染性腸骨動脈瘤破裂に対してEVAR施行後、人工血管置換を要した1例

○廣田 章太郎, 手塚 雅博, 白瀧 雄大, 和賀 正義, 中村 剛, 横山 昌平, 川村 匡, 福田 宏嗣
獨協医科大学 心臓血管外科

P3-2 正中アプローチで手術困難であった感染性腹部大動脈瘤破裂に対して、胸腹部アプローチで腹部大動脈人工血管術を行った1例

○岸波 吾郎, 長 泰則, 桑木 賢次, 小谷 聡秀, 岡田 公章, 尾澤 慶輔, 山本 堯佳
東海大学病院 心臓血管外科

P3-3 BCG膀胱内注入後の結核性腹部大動脈瘤術後に発症し、胃空腸吻合術を要した十二指腸狭窄の1例

○大崎 隼, 里 学, 三保 貴裕
佐賀県医療センター好生館

P3-4 腹部大動脈盲端部感染に対してY字グラフトを用いて腹部分枝再建を行った2例

○渡部 克将, 鈴木 正人, 杉本 聡, 渡邊 隼, 森本 清貴, 横山 秀雄, 伊藤 寿朗
札幌孝仁会記念病院 心臓血管外科

P3-5 腹部ステントグラフト感染例の経験

- 福田 卓也, 登坂 有子, 諸 久永
济生会新潟病院 心臓血管外科

ポスターセッション ④ 16:30 – 17:00 (発表各4分 質疑応答2分)

座長 和田 秀一 (福岡大学 心臓血管外科)

P4-1 経小網アプローチによる横隔膜下大動脈遮断で救命し得た腎摘中の大動脈損傷の1例

- 大橋 裕恭¹⁾, 手塚 雅博¹⁾, 滝田 純子²⁾, 小川 敦²⁾, 増田 典弘²⁾, 福田 宏嗣¹⁾
1) 獨協医科大学病院 ハートセンター 心臓・血管外科, 2) 国立病院機構宇都宮病院 外科

P4-2 L字マーキング併用自己開窓型ステントグラフトの治療経験

- 配島 功成¹⁾, 工藤 樹彦¹⁾, 村田 哲¹⁾, 小野 拓哉¹⁾, 志水 秀行²⁾
1) 独立行政法人国立病院機構埼玉病院 心臓血管外科, 2) 慶應義塾大学付属病院 心臓血管外科

P4-3 PMEG 2例の短期成績

- 西田 真由, 橋詰 賢一, 新川 将弘, 小野 拓哉, 松島 宏和, 堀尾 俊介, 黒尾 健人,
志水 秀彰, 灰田 周史, 松本 順彦, 木村 成卓, 山崎 真敬, 志水 秀行
慶應義塾大学医学部 外科学 (心臓血管)

P4-4 弓部大動脈瘤に対する開窓型・分枝型TEVARの標準化を目指して

- 對馬 慎吾¹⁾, 柴田 豪¹⁾, 伊庭 裕¹⁾, 吉川 健太²⁾, 杉浦 宏和³⁾, 早坂 駿²⁾, 中島 智博¹⁾,
仲澤 順二¹⁾, 在原 綾香¹⁾, 加藤 健一¹⁾, 小松 茂樹¹⁾, 米森 柁人¹⁾, 前田 一¹⁾
1) 札幌医科大学 外科学講座 心臓血管外科学分野, 2) 札幌医科大学附属病院 放射線部,
3) 市立札幌病院 リハビリテーション科

P4-5 Stanford A型急性大動脈解離術後急性期に偽腔血栓により発生した腎梗塞

- 工藤 孔輔¹⁾, 高木 大地²⁾, 山浦 玄武²⁾, 桐生 健太郎²⁾, 荒井 岳史²⁾, 五十嵐 至²⁾,
山崎 友也²⁾, 五十嵐 亘²⁾, 中嶋 博之²⁾
1) 秋田大学医学部, 2) 秋田大学附属病院 心臓血管外科

一般演題

17:03 – 17:45 (発表各5分 質疑応答2分)

座長 松田 均 (国立循環器病センター 心臓血管外科 (血管外科))
宮本 伸二 (大分大学 心臓血管外科)

O-1 Shaggy aortaを伴う真性弓部大動脈瘤に対するBrain isolation法の手術成績

○水本 雅弘, 黒田 吉則, 林 潤, 廣岡 秀人, 小林 龍宏, 赤羽根 健太郎, 落合 智徳,
内田 徹郎
山形大学医学部 外科学第二講座

O-2 胸骨部分正中切開による大動脈手術の検討

○陣内 宏紀, 蒲原 啓司, 柚木 純二, 伊藤 学, 諸隈 宏之, 林 奈宜, 七條 正英, 牛草 淳,
馬場 康平, 重富 桂二郎
佐賀大学 胸部・心臓血管外科

O-3 機械学習XGBoost回帰モデルを用いた弓部置換術の循環停止時間予測モデル

○佐藤 宏¹⁾, 伊庭 裕²⁾, 深田 穰治¹⁾, 岩代 悠¹⁾, 小松 茂樹²⁾, 米森 柁人²⁾, 加藤 健一²⁾,
在原 綾香²⁾, 柴田 豪²⁾, 仲澤 順二²⁾, 中島 智博²⁾, 川原田 修義¹⁾
1) 小樽市立病院 心臓血管外科, 2) 札幌医科大学 外科学講座 心臓血管外科学分野

O-4 異所性鎖骨下動脈・Kommerell 憩室に対する当院での治療経験

○灰田 周史, 西田 真由, 黒尾 健人, 志水 秀彰, 松本 順彦, 木村 成卓, 山崎 真敬,
橋詰 賢一, 志水 秀行
慶應義塾大学医学部 外科学 (心臓血管)

O-5 炎症性腹部大動脈瘤に対するEVARの中長期成績についての検討

○加納 正樹, 岩橋 徹, 松田 真, 児島 一輝, 鈴木 隼, 岩堀 晃也, 藤吉 俊毅, 福田 尚司,
島原 佑介
東京医科大学病院 心臓血管外科

O-6 術後中長期パネルデータを用いた線形混合効果モデルおよびランドマーク解析によるEVAR後中長期瘤径縮小とデバイス選択に関する考察

○保坂 到, 岩下 紗和, 椎久 哉良
国立病院機構帯広病院 心臓血管外科

閉会の辞

17:45 – 17:50

湊谷 謙司 (京都大学 心臓血管外科)